



センターだより

令和2年8月 第127号

島根県教育センター

https://www.pref.shimane.lg.jp/matsue_ec/

島根県教育センター浜田教育センター

https://www.pref.shimane.lg.jp/education/kyoiku/kikan/hamada_ec/



所長あいさつ

島根県教育センター 所長 福間 俊行
島根県教育センター浜田教育センター長

日頃より、島根県教育センター及び浜田教育センターの事業につきましてご理解・ご支援いただきありがとうございます。

県教育委員会では、本県教育の基本理念や施策の方向性を示して、学校・家庭・地域・行政が連携し、一体となって本県教育を進めていくため、「しまね教育魅力化ビジョン」が策定されました。

ビジョンに述べられているように、教職員研修は、本県の「教職員の人材育成基本方針」で定めるキャリアステージに応じた育成指標をもとに、教職員として求められる基本的な資質・能力を高めるため、今日的な課題や社会のニーズを踏まえながら、研修内容や方法の工夫・改善を行います。

また、学校を取り巻く課題が多様化・複雑化する状況では、個々の力量を高めていくのみならず、多様な専門性をもつ人材と効果的に協力・分担し、チームの一員として組織的・協働的に対応する力が一層必要となっています。そのためには、管理職だけでなく、全ての教職員が学校マネジメントを理解し、それを意識しながら教育実践をする必要がありますので、学校マネジメント研修の一層の充実を図ってまいります。

さて、学校現場においては、新型コロナウイルス感染症への対応に追われていらっしゃると思います。やっと臨時休業が終わり、子どもたちが登校しても、感染症対策をどうするか、授業の遅れをどう取り戻すかと、手間も悩みも尽きません。さらに、じわじわと社会に襲いかかる不安が、

子どもたちにどう影響するのかについても、気を遣われていらっしゃると思います。

本教育センターでは、4月から多くの研修・支援・相談事業が中止や自主研修となり、教職員の皆さまには大変なご迷惑とご心配をおかけいたしました。その中で、特に学校が臨時休業となった場合の支援として、県教育委員会並びに本教育センターでは、各市町村教育委員会並びに各学校の更なるICT活用を支援するため、Webサイトに「オンデマンド型動画配信」や「双方向型オンラインシステム」等のマニュアルを掲載しました。また、県立高等学校には「教育ICT活用研修会」を実施したところです。今後、一刻も早い事態の収束を願いつつ、ICT活用を含めた様々な教育活動の研修・支援に取り組んでまいります。

本教育センターでは、教職経験年数に応じた研修において、「授業づくり」を一貫して行っておりますが、今年度より、新学習指導要領の実施に備え、そのねらいを一部変更し研修に反映することといたしました。また、「若手教職員を育成する校内サポート体制づくり」をテーマに職員が共同で研究することとしております。

「島根の教育」を担う教職員や学校、家庭、地域の支援こそが本教育センターの最大の使命であります。今年度も「学び続ける教職員の育成と校内のOJTを支援する教育センター」を基本姿勢に、事業に取り組んで参ります。本教育センターでの各種講座をぜひ活用していただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

教職員研修が始まりました！

【主幹教諭研修(新任・2年目)】

「主幹教諭研修」(新任)(2年目)では、長机に1名ずつ着席、松江・浜田・隠岐の3会場をオンラインでつないだ分散会場とする、協議の時間をカットし半日の日程に変更するなどの「三密」対策をして実施しました。

オンラインを用いた講義は、一部聞き取りにくいといった課題もありましたが概ね好評で、今後も有効な研修方法になるように感じました。協議がなくなったことについては「この時期だからやむを得ない」と理解を示す声が多かった一方で、「自分の仕事を振り返る意味でも他の方との情報交換をしたかった」と残念がる意見もありました。また、集合型研修の再開については「直接研



修を受けられる良さを再認識した」という意見や「いつもの職場と場を変えての研修というものは大切だと思った」といった意見がありました。中には「受付で笑顔で迎えていただき、とても安心した」という感想があり、感染症対策により制限されてきた人とのかかわりが、私たちの生活にとってどれだけ大切なものだったかということに改めて考えるきっかけになりました。

今後も「三密」対策をしながら、少しでも効果的な研修となるように努めてまいります。

【小学校理科教育講座】

今年度の小学校理科教育講座は、新型コロナウイルス感染症対策のため、受講者を数理採用4年目・5年目研修(理科)の対象者に限定し、松江会場、浜田会場と東京をオンラインでつないでの実施となりました。

講師の鳴川先生には、コロナ禍で大切にしなければならないことや、資質・能力の育成における授業づくり、小学校理科における1人1台



端末活用のポイントなど、オンラインで貴重なお話を聞かせていただくことができました。また、午後からは松江市立乃木小学校の八木優教諭、松江市立忌部小学校の岩成亜由美教諭に、実践発表をしていただきました。受講者からの質問にも丁寧に答えていただき、大変充実した研修になりました。最後の協議では、写真のようにPC画面を通しての協議もできました。

スタッフ、受講者ともに初めての経験でしたが、オンラインによって充実した研修を実施することができました。

研修での新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、4～6月の研修を中止または延期しました。7月以降の研修については、内容や形態によって、予定通り実施または人数や形態を変更、やむを得ず中止など、県や地域の状況に応じて実施することとしています。受講者の皆様には、島根県教育センターHPをご確認いただき、以下の点をはじめ、感染症対策へのご理解とご協力をお願いします。

- ① 実施要項での日程や内容、諸連絡等の確認(感染状況や三密の回避のため変更することがあります。)
- ② 問診票の記入(HPの実施要項に添付している場合は当日記入したものをお持ちいただき、受付で提出していただきます。)

子どもたちの学びを止めないための支援

今年度は年度当初から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大とそれに伴う緊急事態宣言によって、学校は休校が続き、子どもたちの学習に遅れが生じました。当教育センターでは、そのような事態の中でも子どもたちの学びを止めない学校を支援するために、オンラインによる学習支援に関する情報提供や研修等を行っています。

【県立学校 ICT 活用推進研修会】

6月には、オンラインでの学習を支援するために、県内の全ての高等学校の先生方を対象に「県立学校 ICT 活用推進研修会」を行いました。研修の目的は、先生方に機器やアプリに習熟していただくことと ICT 教育の導入の促進です。6月初旬には、当教育センターにおいて各校の情報担当の先生方を対象に研修を行いました。iPad とノート型パソコンの2台を用いて先生と生徒の両方の立場を体験していただきました。6月中旬からは、当教育センターの指導主事が各校を訪問し、全ての先生方に対して研修を行いました。各校へ直接、情報担当の指導主事が出向いたり、テレビ会議システムを用いて遠隔による講義を行ったりして、研修を進めました。各校の先生方には、iPad を用いて生徒の立場を体験していただきました。また、指導主事の講義によって教員の立場の操作方法をお伝えしました。

研修の内容は、Google 社のプラットフォームである G-suite の中の Classroom です。Classroom での「クラス」の立ち上げ方や、「クラス」の中での生徒とのメッセージや課題のやりとりの仕方、授業の振り返りや動画の YouTube へのアップの仕方、Meet を用いたミーティング参加方法をお伝えしました。

この研修を機に、各校においては Wi-Fi 環境やネット回線、WebEX によるテレビ会議の接続の仕方等も再確認していただきました。今回の研

修だけでは十分な ICT の活用は難しい、と思われた先生方も多かったと思いますが、是非とも各校における OJT によって先生方に少しずつ習熟していただき、いざという時のために準備をしていただきたいです。

〈テレビ会議システムで講義を行う様子〉



〈高校での研修の様子〉



当教育センターのホームページには、先生方のICT活用を支援するために「オンデマンド型 動画配信マニュアル」、「双方向型オンラインシステム等マニュアル」を掲載しています。「オンデマンド型 動画配信マニュアル」の中には、動画のイメージをつかんで動画作成を身近に感じてもらうことを目的とした、外国語(中3～高1程度)・数学(高1程度)・国語(高1程度)のサンプル授業動画もあります。是非ご活用ください。

オンデマンド型動画配信マニュアル

「オンライン授業」とひとくくり報道されることが多い昨今ですが、大きく分けると「オンデマンド型」と「同時双方向型」の2つに分類されるのではないのでしょうか。

○「オンデマンド型」：ライブ配信ではない、利用者からの要求に応じて個々に映像が配信される

○「同時双方向型」：情報等の流れが一方通行ではなく、情報の送り手に対して、同時に情報の受け手も何らかの働きかけができる

本マニュアルでは、“同時か、同時出ないか”、“授業か、授業でないか”を問わず、「学校と児童生徒とのつながりを大切にいくために“双方向性”を持つこと」を念頭に置いて紹介いたします。普段、先生方が様々な方法で工夫しながら児童生徒とのつながりを持っておられるのと同様に、“オンラインを使用した場合”も同じような工夫が必要になるのではないのでしょうか。正解は1つではなく、様々な方法があると考えます。

※閲覧にはパスワードが必要になります。パスワード等詳細は市町村教育委員会・県立学校宛の通知文書（島教指号外令和2年5月14日）をご覧ください。尚、パスワードに関する問い合わせは「教育指導課学力育成スタッフ」までお願いします。TEL:(0852)22-5421

オンデマンド型 動画配信マニュアル



■オンデマンド型 動画配信マニュアル (5月14日版 PDF: 4.74MB)

来所教育相談のご案内

学校教育や家庭教育に関する様々な不安や悩み、心配事について一緒に考えます。
お気軽に、ご連絡ください。お申し込みは下記の電話番号で受け付けます。

島根県教育センター

松江市内中原町 255-1
相談日：毎週火曜日～金曜日
時間：9時～17時
電話：(0852)22-5876

浜田教育センター

浜田市長沢町 1550-1
相談日：毎週月曜日～金曜日
*水曜日は午後のみ
時間：9時30分～17時
電話：(0855)23-6784

“こころ・発達”教育相談室

出雲市下古志町 1574-4
相談日：毎週水・木曜日
時間：9時～16時50分
電話：(0800)200-1556

- 幼児から高校生までの子ども**が相談対象です
- 本人および保護者、学校教職員の皆さま**にご利用いただけます
- 相談は**無料**です
- 相談内容についての**秘密**を守ります

